

令和5年度 た・か・に の教育

考える学校

たかの子ども

通常学級・特別支援学級「久我山学級」

特別支援教室「たかに教室」(富士見丘小巡回指導)

きこえとことばの教室「高井戸小学校」

家庭
保護者

親身に
寄り添う存在

地域
関係機関

きめ細かい
サポート

連携

学校

連携

「できることや
可能性をふやす場所」

インクルーシブ教育の推進

→通常学級と特別支援学級の交流・共同学習
「他者への共感や思いやりをもつ」
「様々な個性を互いに認め合う」

家庭でのコミュニケーション

基本的生活習慣の確立

- ・生活リズムの形成
- ・早寝早起き

社会的ルールを身に付ける

あいさつ 返事

- ・相手に対する節度ある態度・感謝
- ・かかわりのきっかけ

コミュニケーション力を高める

安全・安心のよりどころ

- ・登下校の見守り
- ・SNSルール

自分の命は自分で守る

学習習慣の確立

- ・復習・予習
- ・読書
- ・翌日の準備
- ・学校の出来事を家で話す

学習を深める

自分の興味関心を高める

地域のつながり

学校運営協議会

- ・学校運営に携わり、地域に支えられる学校づくりの実現を目指す組織

学校支援本部 (H21.9 発足)

- ・児童の笑顔につなげる地域力を生かした活動支援
- ・親児の会
- 読書支援・学習支援・環境整備
- 防災教育支援・土曜日学校 等

児童館・学童(放課後児童クラブ)

子ども家庭支援センター

児童相談所

SSW(スクールソーシャルワーカー)

青少年育成委員会

高井戸警察署

荻窪消防署・地域消防団

東京都教育委員会

杉並区教育委員会

済美教育センター

地域の関係諸機関 等

スクールカウンセラー

教職員の資質向上

「学びの構造転換」の推進

- ・対話でつながり、互いに認め合う。
- ・自らの問いを探究する授業づくりを進め、思いや考えを深める児童の育成を目指す。

互いに学び合う風土づくり

- ・先生方が互いに授業を見合い、校内研究ミニ研修会等、学ぶ機会を自ら求め、自己の授業力をのばす。

各種研修の実施

- ・人権感覚を磨く
- ・服務事故を防止する
- ・危機に対応する
(不審者・アレルギー・救急救命等)

【子どもとともに学び続ける】

体

たくましい子

- ・粘り強く取り組む
- ・よく体を動かす
- ・自分の命は自分で守る

「やってみよう」

- ・外遊びの奨励
- ・運動の日常化
- ・高二水泳安全日

知

かしこい子

- ・自分で考える
 - ・よく話を聞く
 - ・よく読む
 - ・自分の考えを表現する
- #### 「考えよう」

- ・ICT、学校図書館の活用
- ・一人ひとりに合った学び

徳

にこやかな子(重点目標)

- ・すすんであいさつをする
- ・相手の気持ちを思いやる

「あいさつをしよう」

「夢や希望をもとう」

- ・高二トーク(対話練習)によるコミュニケーション力の向上
- ・道徳教育の指導法の工夫
- ・校内委員会、いじめ対策委員会の充実

教職員の働き方

ICTの利活用

- ・ICTの活用によって、教材・教具の準備、事務処理、教職員間の周知等の時間の削減を行う。

様々な人的支援の配置

- ・専門的な知識をもっている教員を適所に配置し、よりよい教育活動へつなげる。
- ・教師の持ち時間数を減らし、指導の充実を図る。

組織としての対応

- ・課題は、学年や学校の課題ととらえ、チーム学校として統一した考えで対応する。

【心と体の健康第一】

幼保小連携から 小中一貫へ(子どもの成長を、つながりをもって見る)

「スタートカリキュラム」による子幼保小のスムーズな接続を図る

「三校(高二小・松庵小・西宮中)合同研修会」による相互理解を深める

令和5年度 た・か・に の教育 考える学校

たかの子ども

通常学級・特別支援学級「久我山学級」

特別支援教室「たかに教室」(富士見丘小巡回指導)

きこえとことばの教室「高井戸小学校」

家庭
保護者
親身に
寄り添う存在

地域
関係機関
きめ細かい
サポート

インクルーシブ教育の推進
→通常学級と特別支援学級の交流・共同学習
「他者への共感や思いやりをもつ」
「様々な個性を互いに認め合う」

連携

連携

学校

「できることや
可能性をふやす場所」

家庭でのコミュニケーション

- 基本的生活習慣の確立
・生活リズムの形成
・早寝早起き
- 社会的ルールを身に付ける
- あいさつ 返事
・相手に対する節度ある態度・感謝
・かかわりのきっかけ
コミュニケーション力を高める
- 安全・安心のよりどころ
・登下校の見守り
・SNSルール
- 自分の命は自分で守る
- 学習習慣の確立
・復習・予習
・読書
・翌日の準備
・学校の出来事を家で話す
- 学習を深める
自分の興味関心を高める

- 学校運営協議会
・学校運営に携わり、地域に支えられる
学校づくりの実現を目指す組織
- 学校支援本部 (H21.9 発足)
・児童の笑顔につなげる地域力を生かした
活動支援
・親児の会
読書支援・学習支援・環境整備
防災教育支援・土曜日学校 等
- 児童館・学童(放課後児童クラブ)
子ども家庭支援センター
児童相談所
SSW(スクールソーシャルワーカー)
青少年育成委員会
高井戸警察署
荻窪消防署・地域消防団
- 東京都教育委員会
杉並区教育委員会
済美教育センター
地域の関係諸機関 等
スクールカウンセラー

教職員の資質向上

「学びの構造転換」の推進

- 対話でつながり、互いに認め合う。
- 自らの問いを探究する授業づくりを進め
思いや考えを深める児童の育成を目指す。

互いに学び合う風土づくり

- 先生方が互いに授業を見合い、校内研究
ミニ研修会等、学ぶ機会を自ら求め、自
己の授業力をのばす。

各種研修の実施

- 人権感覚を磨く
- サービス事故を防止する
- 危機に対応する
(不審者・アレルギー・救急救命等)

【子どもとともに学び続ける】

体
たくましい子

- 粘り強く取り組む
- よく体を動かす
- 自分の命は自分で守る

「やってみよう」

知
かしこい子

- 自分で考える
- よく話を聞く
- よく読む
- 自分の考えを表現する

「考えよう」

徳
にこやかな子(重点目標)

- すすんであいさつをする
- 相手の気持ちを思いやる

「あいさつをしよう」
「夢や希望をもとう」

- 外遊びの奨励
- 運動の日常化
- 高二水泳安全日

- ICT、学校図書館の活用
- 一人ひとりに合った学び

- 高二トーク(対話練習)によるコミュニ
ケーション力の向上
- 道徳教育の指導法の工夫
- 校内委員会、いじめ対策委員会の充実

幼保小連携から 小中一貫へ(子どもの成長を、つながりをもって見る)
「スタートカリキュラム」による子幼保小のスムーズな接続を図る
「三校(高二小・松庵小・西宮中)合同研修会」による相互理解を深める

教職員の働き方

ICTの利活用

- ICTの活用によって、教材・教具の準備、事務処理、教職員間の周知等の時間の削減を行う。

様々な人的支援の配置

- 専門的な知識をもっている教員を適所に配置し、よりよい教育活動へつなげる。
- 教師の持ち時間数を減らし、指導の充実を図る。

組織としての対応

- 課題は、学年や学校の課題ととらえ、チーム学校として統一した考えで対応する。

【心と体の健康第一】